



ムスリムとは







ムスリムとは



「イスラーム」の語義は、平和、幸福、安全、救いである。宗教としてのイスラームとは、自らの意思でアッラーに服従することを指す。イスラームを自分の宗教として受け入れ、その規則に従って生活する人をムスリムと呼ぶ。

人は、次のような意味を持つ信仰を宣言することで、イスラームに入門する。「私は、アッラーの他に崇拝に値する神は存在しないことを証言し、ムハンマドがアッラーのしもべであり、使者であることを証言します。」ムスリムになるための最低条件は、イスラームの基本原則を心の底から信じることである。それはつまり、アッラーの存在と唯一性、天使、アッラーが遣わした神の書物たるクルアーン、預言者、来世、そして運命を信じることで



タウヒードの言葉

لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ مُحَمَّدٌ رَسُولُ اللَّهِ

アッラー以外に神は無しムハンマドは
アッラーの使徒である

ある。ムウミン(信仰者)とは、これらの原則を信じる者であり、自分の信念を公に表明する者である。

心からイスラームを受け入れているため、ムスリムもまたムウミンである。この2つの言葉は、同一の意味で使うことができる。ムウミンの属性については、クルアーンの様々な場所で言及されている。すべてのムウミンは、その聖なる書物の中で述べられている資質を体現する責任がある。しかしながら、人間の本性の欠陥のために、常にそれを補うことは不可能かつ容易でない。もちろん、アッラーの慈悲と赦しは無限である。聖クルアーンでは、ムウミンに顕著な属性について、以下のように言及している。

正義とは、東や西に顔を向けることではなく、アッラー、最後の日、天使、啓典、預言者を信じ、親族、孤児、困窮者、旅行者、頼みごとをする者、奴隷解放のために、愛を持って富を与えることである。そして、日々の礼拝を確立し、ザカーを与え、約束した時には違えることなく果たし、貧困や苦難の中、そして戦いの中においても忍耐強く生きている者。これらの者こそが真実の者であり、正義の者である。(アル=バカラ章 2/177)

あなたの主は、主以外を崇拝してはならないと定められている。また、両親に対しては、良い待遇を与えるなければならない。かれらの一方または両方が、あなたと共にい

る間に老年となっても、かれらに向かって「ウフ」と言ってはならない。またかれらを拒むことなく、高尚な言葉をかけなさい。また、慈悲の心から、彼らに謙虚な態度で接し、「アッラーよ、私を小さな頃から育てられたように、彼らにご慈悲をお与えください」と言いなさい。(アル=イスラー章17/23-24)

楽な時も苦しい時も(アッラーのために)費やし、怒りを抑えて人々を赦す者。そして善行を行う者を、アッラーは愛される。また、不道德なことをしたり、(罪を犯して)自分を傷つけたりした時、アッラーを思い、その罪の赦しを求める者(アッラーの外に誰が罪を赦すことが出来るというのか)。また、自分がしたことを認識し、それを続けない者たちを、アッラーは愛されるのだ。(スーラト・アル=イムラーン章3/134-135)

信者とは、アッラーのことが語られると心が恐ろしくなり、アッラーの御言葉が読まれると信仰が深まる者たちのみを指す。また、彼らの主に頼る者、すなわち、礼拝を行う者、また、われが彼らに与えたものを使う者である。(アル=アンファール章 8/2-3)

言ってやるがいい。「さあ、おまえの主がおまえに禁じられたことを述べよう。あなたがたは、何物をも神に関連づけてはならない。また、両親には良い待遇を与え、貧しさのために子供を殺してはならない。われはあなたとその者らを養うであろう。また、不道德



なことに近づいてはならない。それは明らかなものでも、隠れたものでも同様である。また、アッラーが禁じられた魂を、正当な理由がない限り殺してはならない。これは、あなたがたが理性を働かせるために、かれがあなたがたに命じたことである。」また孤児の財産は、その子が成人するまでは、最善の方法でなければ近づいてはならない。正義のために、十分重きをおきなさい。われは、いかなる魂も、その能力の範囲内でなければ請求しない。また、あなたがたが証言する時は、たとえ近親者であっても公正であれ。また、アッラーの御約束は履行される。これは、あなたがたが覚えておくようにと、主があなたがたに訓戒したものである。またこれは、真っ直ぐなわが道である。だからそれに従え。あなたがたはその道から離れてはならない。あなたがたが正しい者にな



るために、かれはこれをあなたがたに教えられたのである。(アル=アナーム章 6/151-153)

成功する信者たちとは、礼拝の時に謙虚に服従する者、悪口を言わない者、ザカートを遵守する者、秘部を隠す者である。(アル=ムウミン章 23/1-5)

慈悲深き御方のしもべとは、地上を軽やかに歩き、無知な者が荒々しくかれらに話しかけると、平和を唱える者たちである。また夜には、主に向かってひれ伏し、また礼拝のために立つ者たちである。そしてこのように言う人々である、「主よ、わたしたちから地獄の懲罰を退けて下さい。その懲罰は、実に永遠に続くのです。間違いなく、住処としては酷く不快なのです。」また、アッラーと一緒に他の神を唱えたり、アッラーが禁じられている魂を、正当な場合を除いて殺したりせず、不当に性交を行わない者である。そのよう



なことをする者は、罰を受けることになる。(アル=フルカーン章、25/63-68)

また、虚偽の証言をしない者、悪口を話す人々の近くを堂々と通り過ぎる者である。また、主の御言葉を思い出しても、耳が聞こえなくなったり、目が見えなくなったりしない者たちである。(スーラト・アル=フルカーン章 25/72-73)

真実に偽りを混ぜたり、知っていながら真実を隠したりしてはならない。また、日々の礼拝を確立させ、ザカーを与え、礼拝する者と共に礼拝をなさ。 (スーラト・アル=バカラ章 2/42-43)。

信仰する者よ、多くの(否定的な)思い込みを避けなさい。実に、ある種の思い込みは罪である。また、互いに監視し合ったり、陰口を叩いたりしてはならない。あなたがたの一人が、死んだ兄弟の肉を食べたいと思うだろうか。あなたがたはそれを嫌うであろう





。そして、アッラーを畏れなさい。本当にアッラーは、悔い改めを受け入れる、実に慈悲深い方である。

信者たちよ、言うがいい。「私たちは、アッラーと私たちに啓示されたもの、アブラハム、イシュマエル、イサク、ヤコブとその子孫に啓示されたもの、モーセとイエスに与えられたもの、そして主から預言者たちに与えられたものを信じている。私たちはそれらのどれにも区別をつけず、主に対する(服従する)ムスリムである。」(アル=バカラ章 2/136)

また、アッラー以外を奉じる者たちであっても侮辱してはならない。その者どもが知識のないまま、敵対心からアッラーを侮辱しないように。このようにして、われはそれぞれの共同体に対し、各々の行いに喜びを与える。そして彼らの主の御許に帰った後、彼らが行っていたことを知らせて下さる。(アル=アンアーム章 6/108)。

信仰する男性と信仰する女性は、互いに協力し合う。彼らは、正しさに心を戒め、悪いことを禁じ、礼拝を守り、ザカーを捧げ、アッラーとその使徒に従う。これらの者に、アッラーは慈悲をかけてくださる。本当にアッラーは、偉力ならびなく英知に富む方である。(アッ=タウバ章 9/71)。

アッラーは、あなた方に、信頼を得るべき者に信頼を与えるように、また、人と人との間を裁く時には、正義をもって裁くように命じておられる。アッラーがあなた方に指示さ



れたことは素晴らしいことである。本当に、アッラーは、常に聞いておられ、見ておられる方である。(アン=ニサー章 4/58)

人類よ、地上にある合法的で善良なものであれば、何であれ食べなさい。本当にかれは、あなたがたの明らかな敵である。(アル=バカラ章 2/168)。

また、大罪や不道徳を避け、怒った時は許す者、主に仕えて礼拝を捧げ、抱える問題を自分たちで相談して決め、われが与えたものを使う者である。また、降りかかる抑圧に対して、自分の身を守る者たちである。(アッ=シュラー章 42/37-39)

災難に見舞われた時、「本当に我々はアッラーのものであり、我々はアッラーのもとに帰るのだ」と言う者。これらの者には、主からの祝福と慈悲がある。このような者こそが、正しく導かれた者である。(アル=バカラ章 2/156-157)。

かれらは、夜に少ししか眠らず、夜明け前の時間には赦しを請い、かれらの財産から、請い願う者と奪われた者の権利が(与えられた)。(アッ=ダーリヤート章 51/17-19)

アッラーが建てるように命じられたモスクの中には、アッラーの御名が記されている。朝夕、その中でアッラーを称える。かれらは、商売や売買によって、アッラーを念じ、礼拝やザカーを捧げることを妨げられることはない。主の心と目が振り向く日を恐れてい



るのだ。アッラーは、かれらの行った最善のことに報い、かれらにより多くの恩恵を与えるだろう。アッラーは、御心に適う者には言葉無く与えられる。(アン=ヌール章24/36-38節)

また、使徒に啓示されたことを聞いた時、真実を認識したために、彼らの目が涙で溢れるのを見るだろう。彼らは言う。「主よ、私たちは信じています。そのため、私たちが証人に加えてください。」(アル=マーイダ章5/83)

あなたがたが与えられたものは、全て現世の生活を楽しむためのものである。だがアッラーの御許にあるものは、より優れ、より永続的である。信仰して主に仕える者、大罪や不道徳を避け、怒った時には赦す者、主に仕えて礼拝を捧げ、自分たちのことは自分たちで相談して決め、われが与えたものを使う者、暴虐にあった時には自分で身を守

る者である。(アッ=アシュラー章 42/36-39)

これは疑う余地のない啓典であり、アッラーを意識する者、即ち幽玄界を信じ、礼拝を捧げ、われが与えたものを使う者への導きであり、また、あなたに啓示されたもの、あなた以前に啓示されたものを信じ、来世について確信を持つ者への導きである。(アル=バカラ章 2/2-4)。





連絡先
宗務庁
宗教出版本部

Diyanet İşleri Başkanlığı
Dini Yayınlar Genel Müdürlüğü
Yabancı Dil ve Lehçelerde Yayınlar Daire Başkanlığı

Üniversiteler Mah. Dumlupınar Bulvarı
No:147/A 06800 Çankaya-ANKARA/TÜRKİYE

Tel : +90 312 295 72 81

Fax : +90 312 284 72 88

e-mail: yabancidiller@diyanet.gov.tr

MÜSLÜMAN KİMDİR?
JAPONCA